

U.S. Indicators

発表日: 2024 年 7 月 25 日(木)

米国 民間需要加速もインフレ圧力の緩和継続(7 月 PMI)

～サービス主導の民間需要加速～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel: 050-5474-7493)

24 年 7 月の S & P グローバル米国総合購買担当者指数 (PMI) は、55.0 (前月 54.6) と前月比 0.4%ポイント上昇し、市場予想の 54.2 (筆者予想 54.4) への低下に反して上昇した。7 月総合 PMI は、拡大縮小の分岐点である 50 を 18 カ月連続で上回ったうえ、前月から上昇し、同統計調査対象企業の活動や民間需要の拡大ペースの加速を示した。

製造業は、49.5 (前月 51.6) と前月比 2.1%ポイント低下し、縮小に転じたことを示した。一方、サービス業は、56.0 (前月 55.3) と前月比 0.7%ポイント上昇し、速いペースでの拡大を示した。内外での人の移動の活発化による需要の強まりを背景に 18 カ月連続で拡大縮小の分岐点である 50 を上回ったうえ、足元で米民間サービス業の活動が活発化したことが示された。

総合新規受注は、52.9 (前月 53.1) と低下し、需要の拡大ペースが小幅減速したことを示した。サービス業が 53.9 (53.5) と上昇した一方、製造業が 47.4 (前月 51.0) と大幅に低下し、全体を押し下げた。また、総合雇用は 50.8 (前月 52.5) と低下し、雇用の拡大ペース鈍化を示した。製造業が 52.3 (前月 53.5)、サービス業が 50.6 (前月 52.3) とともに低下した。

インフレ関連では、総合投入価格指数が 57.8 (前月 56.5) と上昇した一方、総合産出価格指数が 53.1 (前月 53.8) と低下しており、消費者段階での価格転嫁の困難な状況によるインフレ圧力の緩和が示された。製造業では、投入価格指数が 57.4 (前月 56.8) と上昇したが、産出価格指数が 51.1 (前月 53.8) と低下し、財価格の上昇ペース鈍化を示した。同様に、サービス業では、投入価格指数が 57.9 (前月 56.5) と上昇したが、産出価格指数が 53.4 (前月 53.8) と低下する形で、サービス価格の上昇ペース鈍化を示唆した。

製造業では、生産が 49.5 (前月 52.1)、新規受注が 47.4 (同 51.0)、在庫が 49.0 (同 49.8) と低下し、50 を下回った。雇用は 52.3 (同 53.5) と低下したが、50 台を維持した。寄与度では、新規受注が前月比▲1.08%ポイント、生産が前月比▲0.66%ポイント、雇用が前月比▲0.24%ポイント、在庫が前月比▲0.08%ポイント、入荷遅延が前月比▲0.04%ポイントの押し下げ寄与となった。

サービス業では、活動指数が 56.0 (前月 55.3) と上昇し、事業活動がより活発化したことを示した。また、新規受注が 53.9 (前月 53.5) と上昇、需要の拡大ペース加速を示した。さらに、「将来の活動指数」が 66.2 (前月 67.8) と高い水準を保っており、サービス関連企業は先行きに対して楽観的な見方を維持し続けている。

24 年 7 月の総合 PMI は 55.0 と 4－6 月期の 53.5 からさらに上昇し、7－9 月期に米民間需要の拡大ペースが加速していることを示している。製造業が 49.5 (4－6 月期 50.9) と小幅低下した一方、サービス業が 56.0 (4－6 月期 53.8) と上昇し、サービス需要がけん引役となっている。



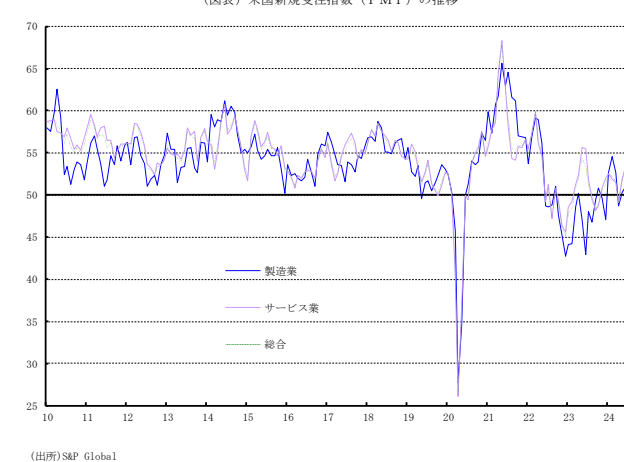
(図表) 米国購買担当者指数 (PMI) の推移



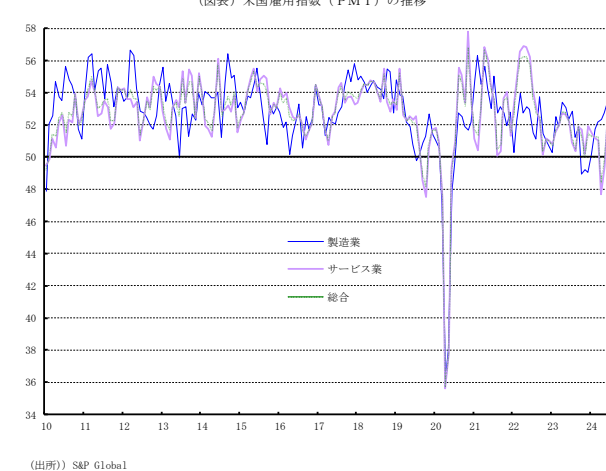
(図表) 米国生産・活動指数の推移



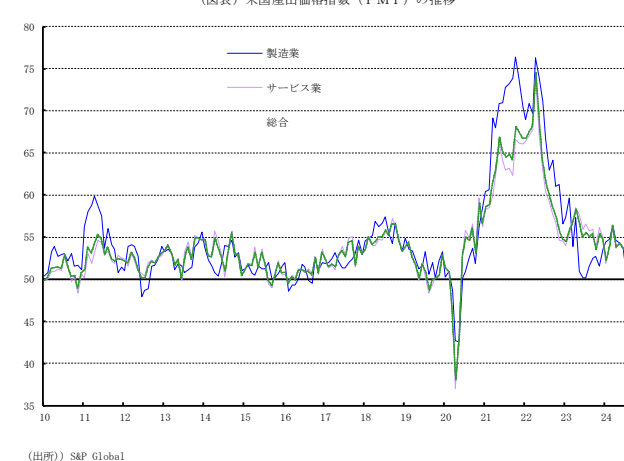
(図表) 米国新規受注指数 (PMI) の推移



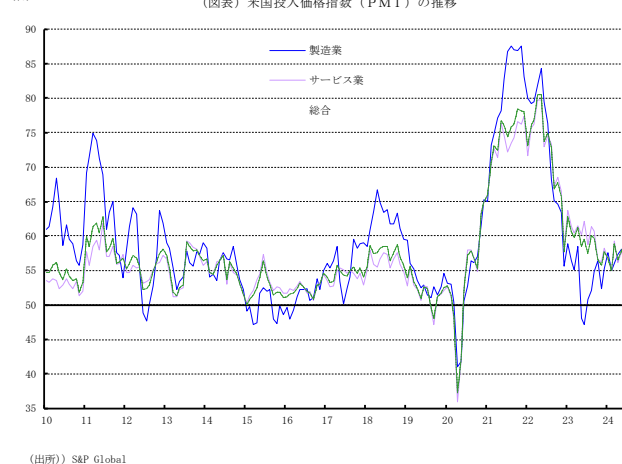
(図表) 米国雇用指数 (PMI) の推移



(図表) 米国産出価格指数 (PMI) の推移



(図表) 米国投入価格指数 (PMI) の推移



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

